

令和6年2月29日

保護者様

大阪市立異中学校

校長 河原 倫生

## 子どもたちが安心して過ごすことができる場所 (多目的安心ルーム; 仮称)について

平素は本校教育推進のために深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、校内の空き部屋を整備・活用して、タイトルにあるような部屋を PTA とも協力し、整備を進めてきました。

異中学校では、学校(教室)になじめない生徒や一時的に気持ちを落ち着かせる場所、外国から来た生徒の個別指導、その他多目的室として、安心感のある空間や居場所作りに取り組んでいます。

他校の良い例も参考にして、「落ち着いて過ごすことができ、自習ができる部屋」を3月から開設します。

(今後も、PTAと協力し、さらに環境整備を進めていく予定です)



### 多目的安心ルーム(仮称)について

|     |  |
|-----|--|
| 対象  | ● 「授業に入りにくい」「学校に行きにくい」と感じている生徒など   |
| 環境  | ● 学習ルーム(おもに自主学習をおこなうスペース)<br>➤ 長机、パイプ椅子<br>● 安心ルーム(おもに心と体を休める、会話などするスペース)<br>➤ 丸机、小図書室<br>※同じ部屋をエリアで区切っているイメージ |
| 利用  | ● 担任や学年、教頭に相談(電話で大丈夫です)<br>※利用者がいれば開館  |
| その他 | ● 必要に応じて教職員(サポーターも含む)を配置検討中<br>※教職員がつかない時間もあります  |

#### 【問い合わせ先】

大阪市立異中学校  
電話：(06)6757-0001